

粟生町地域福祉委員会 だより

2019-9-No.44号

暮らしの中に、今も多様に活きている「仏教のことば」



7月度の「いきいきサロン」が17日(水)午前10時から、粟生コミュニティーセンターで開催されました。内容は光明寺住職青山文夫氏の『暮らしの中の仏教語』という話でした。仏教のことばから生まれて、今も脈々と繋がれて使われていることばを、いろいろな例題で話をされました。

「最後まで自分らしく生きるには」どのようにしたら良いですか？



8月21日(水)午前10時より、粟生コミュニティーセンターで、寺井病院医療ソーシャルワーカー信耕久美子氏による「いきいきサロン」が開催されました。最後まで自分らしく生きるために皆さんは日頃から①どういう治療法を選ぶか ②どこまで治療するか ③最後をどこで迎えるか ④誰に自分の意志を託すかという事を考えていますか？と言うような内容でした。言い方を変えれば終活に必要なお話でした。大事な事は最後には自分の「考え方」を明らかにして万が一の時に備えて、自分の意志を誰かに伝えておくこと。という事のお話でした。

地域福祉とは何か？ 津幡町中条地区との交流会



能美市社協さんからの依頼により9月12日(木)、粟生コミュニティーセンターで津幡町中条地区くらし安心ネットワーク委員会と、粟生町地域福祉委員会との意見交換会が開催されました。粟生町の地域福祉委員会の活動を報告し、その報告に対しての質疑応答がありました。その後、セーター内の「親子サロン」や「健康麻将クラブ」の様子を視察されました。